

命く輝

HIKARE

～光れ～



新生会広報誌

vol.8

令和4年2月発行

<http://www.i-shinseikai.jp/>

社会福祉法人 新生会

1 社会福祉法人新生会 法人本部事務局

〒028-3625

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1
電話：019-611-0242 FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設 「新生園」

〒028-3625

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地
電話：019-697-6831 FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設 「第二新生園」

〒028-3617

岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地
電話：019-697-8011 FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設 「みちのく療育園」

〒028-3623

岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地
電話：019-611-0600 FAX：019-611-0601

5 多機能型施設 「ワークセンターむろおか」

〒028-3625

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地
電話：019-697-6856 FAX：019-611-1666
エコレストランあいのの

〒028-3605

岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地
電話：019-681-0304 FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所 「あさあけの園」 café あさあけ

〒028-3614

岩手県紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第6地割17番地2
電話：019-697-6537 FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所

「障害者地域生活支援センター しんせい」

電話：019-697-3300 FAX：019-601-2826

紫波地域障がい者基幹相談支援センター

電話：019-601-2805 FAX：019-601-2826

〒028-3614

岩手県紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所 「新生ホーム」

〒028-3625

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9
電話：019-611-1199 FAX：019-601-2380

年頭あいさつ

社会福祉法人新生会 理事長 阿部 肇男



令和4年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様方には、日ごろから当法人の事業運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、100年に一度の大災害ともいわれるコロナ禍に引き続き大きな影響を受けた年となりました。世界では2億人が感染し540万人が死亡したと伝えられています。私たち岩手県においても先月末で約3,500人が感染、53名の方の死亡が報告されており、一日も早い終息が望まれます。

当法人におきましては、今後も感染症対策を徹底し利用者の皆様方の安全を第一に職員一同頑張っておりますのでこれまで同様のご協力をお願いいたします。

さて、平成13年7月に岩手県内唯一の民間「重症心身障害児施設」として開設した「みちのく療育園」は、昨年20周年を迎えることができました。残念ながら、コロナ禍により記念行事は延期しておりますが、今年はぜひ開催したいと考えています。また、来年4月には法人が創設40周年を迎えます。そういったことから今年は、これまでの歴史を振り返りながら、将来に向けた新たな一歩の準備をする大事な年になると考えています。

当法人はこれまで、地域社会の要望を踏まえながら福祉サービスの充実や施設の拡充に努めてまいりましたが、地域社会のニーズはますます拡大多様化の傾向にあると考えます。例えば、昨年公布・施行された医療的ケア児支援法も当法人にとっては考慮すべき法律であると考えています。こうした中において、今後とも社会福祉法人としての役割を適切に果たすため努力をしておりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症が再び拡大の傾向にあります。皆様方におかれましても、感染防止に十分ご留意の上お過ごしになられますことをご祈念し年頭のご挨拶といたします。

令和4年1月



新卒者インタビュー

昨年4月に入社し9か月、各事業所で奮闘している5人の新卒職員に先輩職員がインタビューをしました。

Q1 仕事でやりがいを感じる時はどんな時ですか。

- *印刷物の冊子等を失敗なく折り機から断裁機まで一人でできた時です。
- *利用者さんの笑顔が見られた時です。
- *自分が居室に入った時に、笑顔で挨拶をして下さった事と名前を呼んで頂けるようになった事でやりがいを感じます。特に早番の起床介助時に笑顔を見ると一日頑張ろうと思えます。

- *利用者さんと関わる中で笑顔が見られた時です。
- *自分が関わった行事で利用者さんの笑顔が見られた時です。
- *利用者さんとの関わりの中で、自分の対応で利用者さんの笑顔や楽しそうな姿が見られた時です。

Q2 仕事でつらかったこと、大変だったことはありますか。

- *たくさんの量を失敗してみなさんに迷惑をかけた時は一人の失敗ではなく印刷科の責任になるという責任の重さに辛くなりました。
- *利用者様の訴えが分からなくて対応に困った事です。
- *利用者さんとの意思疎通が難しく、うまく伝えられないところが大変です。
- *利用者さんの個々の状況や対応を覚える事が大変でした。
- *介護の経験がほとんどなかったので、ベッド移乗や、食事介助などに慣れるのが大変でした。

Q3

それをどうやって
乗り越えましたか。

- *名簿を作ったりメモに残して覚えるようにしました。
- *印刷科の皆さんに励ましてもらって元気をもらい乗り越えました。
- *職員に話を聞いたり、対応している姿を見て、色々な方法を真似してみました。まだ模索する部分はあるのですが、長い目で見ていただきたいと思います。
- *コミュニケーションを多くとり、利用者さんとの信頼関係を作れるよう現在も頑張っています。
- *周りの職員の方に分からない点を聞き自分で対応できるよう努力しました。
- *個人で研修を受けに行ったり、先輩たちに聞きながら少しずつ慣れていきました。

Q4

仕事をする上で、
大切にしている事は何ですか。

- *報告・連絡・相談をしっかりとるようにして、確認をすることです。
- *電話のメモを細かくとる事です。
- *何をするにも「自分に置き換えて考える」ことです。自分

がされて嫌な事は利用者様にしないようにしています。また、コミュニケーションを図りやすくする為に、出来るだけ同じ目線の高さで関わるようにしています。

- *職員間や利用者さんとのコミュニケーションを大切に、安全に業務を行えるようにしています。
- *利用者さんが安心・安全に過ごせるよう努めています。
- *利用者さんが安全に過ごせるようにすること、楽しく過ごせるようにコミュニケーションを工夫することなどです。

Q5

来年の目標や抱負を教えてください。

- *何事にも一生懸命に笑顔で取り組みたいと思います。
- *リーダーや夜間勤務など、まだ経験していない業務があるので、まずは目の前に与えられた業務を覚えたいです。また、学生時代習った事を忘れる前に、活動を展開したり、発達を見極めたりして『療育』を勉強していきたいです。
- *外部研修に参加し、知識と技術を身につけたいです。
- *今年は先輩方に丁寧に仕事を教えてもらったため、来年、後輩が入った際は分かりやすく仕事が教えられるよう頑張りたいです。
- *通常業務をこなしながら、今以上に利用者様のためにできることを行っていきたいです。



新生園
池原 彩乃 生活支援員

何事にも真剣に取り組む姿勢に日々、感心いたします。明るく笑顔で沢山の利用者さん、職員に好かれ、信頼される職員だと思えます。この気持ち忘れずこれからも頑張ってもらいたいです。

先輩
古舘 祥 生活支援員



みちのく療育園
滝野沢 未来 生活支援員

いつも丁寧に仕事をしている姿をみて、私も頑張らなくては、と思っています。他の職員の方々からアドバイスを頂きながら、健康第一で頑張っていきたいと思います~!

先輩
高橋 穂香 生活支援員



第二新生園
工藤 芳樹 生活支援員

新卒で入られ、9か月が経ちました。一生懸命支援をしているところを、よく見ております。悩みは抱えず、先輩職員と共有をして一緒に頑張っていきたいと思います。

先輩
斉藤 幸生 主任生活支援員



第二新生園
猪狩 聖凧 生活支援員

利用者さんと笑顔で会話している姿が印象的です。力みすぎず、ゆるめすぎず、分からないところは分かるまで聞いて、元気に利用者さんと過ごしてください。

先輩
中島 由香子 主任生活支援員



第二新生園
星 君佳 生活支援員

私たちの仕事は「生活支援」であって「生活指導」ではありません。経験年数が増すごとに「指導」になりがちですが、この1年で感じたこと、経験したことを大切にして、今後も活躍することを期待しています!自分自身も楽しんで仕事ができるよう、一緒に頑張っていきたいと思います。

先輩
藤原 真 主任生活支援員





「クリスマス会」開催

12月21日(火)毎年恒例のクリスマス会を開催しました。
残念ながらコロナ禍の影響で、外部の方やご家族と一緒に楽しむ事はできませんでしたが、一人ひとりご家族からのプレゼントがあり、素敵な一日を過ごす事ができました。



「共生の願いも乗せて」ラッピング車両お披露目!!



11月12日(金)共生社会への願いを込めた、初めてのラッピング車両が完成。

施設利用の岩手県在住、大平 ひかるさんから絵を提供していただきました。画面いっぱい、かわいい花や木、虫など自然界の「友達」が笑顔で描かれています。11月14日の岩手日報紙面でも紹介されました。



第19回みちのく療育園実践報告会

11月26日(金)に実践報告会が開催されました。昨年度は、コロナ禍により職員のみで開催でした。

今年度も感染対策が続いており、対面開催は難しいと考え、検討した結果、Zoomを用いたオンラインでの開催となりました。



Zoom会議自体初めてであり、試行を繰り返しながら、無事開催することができました。

小山施設長の基調講演をはじめ、3題の実践報告があり質疑等活発な意見も出て当初予定時間をオーバーする盛況ぶりでした。



演題

1. 「尿取りパット変更による排泄時間の見直し」
排泄チーム 藤井生活支援員
2. 「通所ぽかぽか 移転からの経過報告コロナウイルス感染対策の経験から」
療育部 通所 稲垣主任保育士兼生活支援員
3. 「アクションカードを有効に使おう」
防災委員会 鍋割放射線技師

基調講演

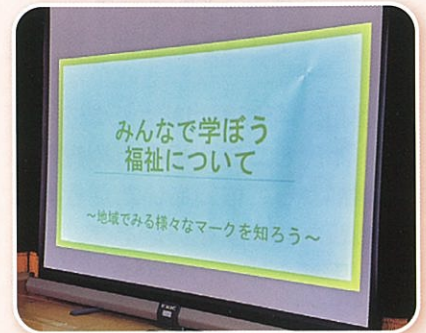
「統計から考える子どもの健康」 小山施設長

理解促進研修

啓発事業とは

紫波地域障がい者基幹相談支援センターの事業のひとつに、理解促進研修啓発事業というものがあります。この取り組みは地域の皆様に、障がいのある方への理解を深めていただき、共生社会の実現を図ることを目的としたものです。コロナ禍であり、集合形式での大人数での開催は難しいと考え、予定していた講演会等は中止、延期となっていました。そのような中、赤石公民館(紫波町)さんより講座をしてもらえないかとお話を受け、感染対策に留意し、少人数を対象に出前講座を行いました。

今年度は東京パラリンピック2020も開催され、その中でもルールがとてもシンプルで、とにかく面白い「ボッチャ」を地域の皆さんに体験していただくことと、やはばーく(矢巾町)で実施した「障害者週間」にも活用させていただいた、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校の学生さんに作成していただいたパワーポイント資料を使用し、「みんなで学ぼう福祉について」と題し、前半にクイズ形式で障がい者マークを知っていただく講座を実施しました。参加者は小学生のご家族数組で、「見たことあるー」「このマーク近所のデパートにありましたー」などなど、楽しみながらマークについて知っていただきました。後半は、いよいよボッチャです。ほとんどの方がテレビで見たことはあるが、ルールはよく分からないとのことで、ルール説明に聞き入る子どもたちの目は真剣そのものでした。親子対抗戦とし、自由度が高く、すべての人が一緒に競い合えるスポーツ「ボッチャ」の面白さを知っていただけたのではと感じています。今後も地域の皆様に、障がいのある方への理解を深めていただけるように取り組んでいきたいと思っております。



多機能型事業所 あさあけの園

ゆく年くる年～あさあけの園編～

クリスマス忘年会 2021.12.28

毎年恒例のクリスマス忘年会を開催しました。ミニゲーム、スライドショー上映、くじ引き大会職員お手製パフェお振舞いで一年の労をねぎらいました。



お祝いのメッセージ
新成人 おめでとーございます
大人としての第一歩を踏み出されたことに
心より祝意とエールを贈ります
これまで育ててくださったご両親、そして
応援してくださった皆様への感謝を胸に
時にはまわりの人たちの助けを必要とする
こともあるかと思いますが、今までの以上に
自分の長所を発揮して、大切な人生を
末永くしっかりと歩んでください

令和四年 一月十一日
社会福祉法人 新生生会
あさあけの園 利用者 職員一同

成人を祝う会 2022.1.11

今年は2名の利用者様が新成人となられ
みんなで祝福しました。





新生園洗濯科

昭和58年開園当初から現在に至る、歴史ある新生園洗濯科です。本年度もコロナ禍のため先行きが不安でしたが、幸いにも新規のお客様からご依頼をいただきました。また、これまでのお得意様からも新たな仕事をいただき、更に忙しくなっています。

利用者の皆様の平均年齢が60歳を超えていますが、仕上がりまでの工程に責任を持ち意欲的に取り組む姿勢に職員も刺激を受けています。

これからも日々頑張っている利用者の皆様のため、働きやすい環境づくりに努めていきたいと思ひます。



障害者支援施設 第二新生園

チャレンジしよう！ワクワクしよう！
第二新生園で楽しもう！

寅年は挑戦・成長の年だそうです。第二新生園では、コロナ禍の中でもできる行事や活動を日々行い、新しい活動にもチャレンジしています。これからも利用者様の笑顔溢れる1年になるよう、様々なことに挑戦していきたいと思ひます。

秋・冬 活動風景



お菓子詰め合わせ作業PR活動

GO TO フェスティバル



一緒に楽しもうね！



カメすくいにチャレンジ！



お弁当にワクワク！

余暇活動



いざ真剣勝負！

スポーツ交流大会



スポーツで気分もリフレッシュ！

忘年会



歌って！踊って！

久しぶりのショッピング

サークル活動 & ビジネス塾

多機能型施設 ワークセンターむろおか

ワークセンターむろおかでは、土曜日や祝日に、サークル活動やビジネス塾を開催しています。

サークル活動

サークル活動は、季節ごとのイベントを考えたり、利用者さんからやりたいこと、行ってみたい場所をお聞きして計画を立て、みんなで余暇を楽しむ活動です。



11月
紅葉を見に田瀬湖方面までドライブに行きました。



12月
DVD鑑賞しながら手作りのそばやおでんを堪能しました。

ビジネス塾

ビジネス塾は、通常の作業を行う日です。平日と違い少人数での作業ですが、集中して取り組んでおりペースは上々です。



フルーツキャップやワインキャップ作業が主になります。白や黒、ピンクなど色とりどりのキャップがあります。

共同生活援助事業所 新生ホーム

新生ホームの年末年始は 『お楽しみ会』で盛り上がる!

12月24日はホームごとにクリスマス会で、ごちそうとケーキそして待望のプレゼントを受け取り利用者さんたちは笑顔でいっぱいになっていました。「あいのの」のオードブルと、「あさあけ」のケーキでお腹がいっぱいになった後、サンタさんから所長が預かって来たプレゼントが皆さんに渡されていました。

1月2日はプチ新年会を昼食時に行いました。豚丼と具だくさんの豚汁をほおぼり、お正月のひと時を楽しまれました。





この度、みちのく療育園寺山美紀療育部長兼支援一課長ならびに第二新生園菅原滋輝支援一課長が、岩手県社会福祉大会長表彰を受賞されました。

『岩手県社会福祉大会長表彰』とは、多年にわたり社会福祉の増進に寄与し功労のあった方及び社会福祉活動に協力、援助した功績が顕著な個人及び団体が表彰されるものです。

寺山美紀療育部長兼支援一課長には平成7年10月1日から、第二新生園菅原滋輝支援一課長には平成7年4月1日からの26年間にわたり、当法人でご活躍いただいております。現在では培った知識・経験を基に、新生会の理念の実践、後輩職員の育成にご尽力いただいております。

表彰を受けた方々、おめでとうございます。



令和3年12月21日(火)に矢巾町公民館で「新生会役職員等研修会」が行われました。

今年度は、高橋昌造矢巾町長を講師にお迎えし、「使用済み紙おむつリサイクルの情勢について」ご講演いただきました。

高橋町長は、「使用済み紙おむつを含むゴミの処理には多額の費用(税金)がかかっているが、リサイクルをすることによって、費用(税金)の削減、そして地球の温暖化防止にもつながる。また、削減された費用(税金)は子育てやその他の施策に還元できる」と強調し、高橋町長の熱い思いが伝わる内容でした。現在、矢巾町は使用済み紙おむつ処理の実証実験をしていますが、新生会の一部の施設が紙おむつを提供しております。

また、環境と福祉の連携「環福連携」について、様々な可能性を指摘し、具体的に資源回収と福祉施設が連携する試行を始める計画など、新生会役職員にとって非常に意義深いお話を伺うことができました。

矢巾町の取り組みが全国に発信され、「環福連携」が大きな広がりになれば素敵ですね。

HIKARE ~光れ~ インフォメーション

café
あさあけ



イチゴ&チーズクリームパイ
イチゴの酸味と、クリームチーズの相性が抜群な一品です。
12月の販売開始以降、
多くの方から注文をいただき、大好評です!

¥1,400

エコレストラン
あいのの



矢巾町特産品

「やほはおでん」

取り扱いしております。

販売価格 1袋=600円

お食事について
お問い合わせ
いただけますよ~

当番 〇月△日 せいちゃん

編集後記

寒い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今号は、新卒職員に1年目の感想などを聞いてみました。新しい環境や出会いに不安や期待、色々な感情が生まれたと思います。自分が社会人1年目を思い返すと、なんでも話を聞いてくれる先輩職員の存在は偉大でした。初心を忘れず、あの頃の先輩方のような存在でありたいものです。皆で支えあいながら支援していきたいと思っております。今後とも「HIKARE」のご愛読、よろしくお願いたします。